

2025年12月3日付・下野新聞1面

鹿沼・干し大根出荷シーズン



出荷が進む干し大根
日午前10時50分、鹿沼市
茂呂
下野新聞
デジタルに動画

甘み増す“すだれ”

鹿沼市茂呂の農業市田博さん(57)方で、主に漬物のたくあんに用いられる干し大根の出荷が進んでいる。2日は長男の輝さん(32)と2人で直売分の作業に取り組んだ。

約55坪の畑で約2万3千本の大根を栽培。11月中旬から収穫し、水洗い後にひもで10

2025
師走点描

本前後をすだれ状に束ね、ビニールハウス内に干している。約10日間乾燥させて水分を抜くことで、柔らかくなり甘みが増す。

(文・写真 森田大地)

博さんによると、農家の高齢化と需要減少で、現在市場へ出荷している県内農家は2軒だけという。「自家製漬物を作るといふ食文化を守るためにも、求められる限り生産を続けたい」と話した。

【言葉の意味】

- ・需要…消費者が「買いたい」「必要としている」と思う商品の量や意欲

設 問

【1】記事に出ている「干し大根」は、主にどんな料理に使われますか？ 記事中から料理名を抜き出して、ひらがな4文字で書きましょう。

【2】記事の大根は、乾燥させて水分を抜くことでどうなりますか。正しい文章を一つ選び、記号で答えましょう。

- ・ア 柔らかくなり、甘みが増す。
- ・イ 柔らかくなり、辛さが増す。
- ・ウ 硬くなり、甘みが増す。
- ・エ 硬くなり、辛さが増す。

【3】記事から読み取れることは次のうちどれですか。正しいものを一つ選び、記号で答えましょう。

- ・ア 鹿沼市では、大根以外にも多くの野菜を生産している。
- ・イ 記事の大根は、3月に収穫をしている。
- ・ウ 記事の大根は、ビニールハウス内に干して乾燥させる。
- ・エ 栃木県は、大根の生産量が国内1位である。

【4】鹿沼市の干し大根産業の課題は何だと思われますか？ 記事の言葉を使って書きましょう。